

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2013 助成の概要と推薦理由

助成番号 13-2-3

プロジェクト名 全国小児がん経験者ネットワークの拡大及び宣伝
広報活動の展開
団体名 小児がんネットワーク MN(みんななかま) プロジェクト
代表者名 小俣 智子
所在地 東京都
助成額 1,575,540 円
助成期間 2013年10月1日～2014年9月30日
設立年 2005年
URL <http://www.accl.jp/mnproject>



小児がんの治癒率は医学の進歩などにより7～8割に向上し、成人する小児がん経験者も増加しているが、成長の過程では復学・進学・就職・結婚など多様な課題を抱えている。この団体は、そのような小児がん経験者や支援者が集まり、病気になったことをプラスに捉え、社会に向けた自主的な活動を展開し、ネットワーク構築に貢献するための活動を行っている。

助成1年目では、「全国小児がん経験者大会」(横浜)の開催を通じて、日頃つながることの難しい全国の小児がん経験者に集う場を提供し、さらには小児がん経験者が置かれている状況と課題に対する理解と支援を社会に伝える活動を行った。大会には約80名の経験者が集まり、当事者の声を集約して社会にメッセージとして発信するために、「共に生きよう横浜宣言」を発表した。この「宣言」は、その後勉強会からの講師依頼や学会発表、マスコミによる放送などにもつながるなど、徐々に広がりを見せた。

今回の助成では、2回目の「全国小児がん経験者大会」(福岡)の開催を通じて、「宣言」普及のための行動計画を参加者とともに作成し、大会終了後も具体的な普及活動の実行を目指す。

本プロジェクトは、仲間と共に行う当事者自らの活動である点、また前回作成した「宣言」を「宣言」で終わらせることなく、普及のために行動計画を立案し共に実施しようとする具体的・発展的な取り組みを評価した。さらには大会の開催地を変えることで、今回であれば九州ブロックの当事者や支援者の掘り起しにつながることや、今後の継続的な実施を通じて、全国各地でのネットワークづくりと拡充に期待して助成した。